

TANGO APASIONADA

プエルタンゴ・キンテート PUERTANGO QUINTETO

平田耕治 Koji Hirata (バンドネオン)

横浜市出身。逗子開成中・高等学校卒業。洗足学園音楽大学・音楽音響デザインコース・作曲専攻卒業。2009年ブエノスアイレス市立オーケストラ・エスクエラ・デ・タンゴ卒業。13歳でバンドネオンを始める。16歳で単身ブエノスアイレスに渡り、故カルロス・ラサリ氏宅に住み込みで師事。翌年からネストル・マルコーニ氏、他にも併せて師事。その後、日本では岡本昭氏、西塔祐三氏など日本の往年のマエストロに薫陶を受ける。2005年秋山和慶氏、2017年原田幸一郎氏の指揮により洗足学園前田ホールにてソリストを務める。これまでにフランス、カナダ、ウルグアイ、韓国、シンガポール、タイ、アメリカ合衆国、ポルトガル、中国などで演奏。アルゼンチンで結成した【CAMBA Tango】は、2009年、2011年、2013年、2015年に日本ツアーを開催。2010年アルゼンチン外務省派遣グループとして動員。15万人を超すポルトガルのフェスティバル「フェスタ・ド・アパンテ」に出演。2014年9月外国人としては異例の2度目のアルゼンチン外務省の後援を受けニューヨーク公演。2015年NHKFM「リサイタルノヴァ」出演、2016年アルゼンチン・ロサリオでの音楽フェスティバルにゲスト出演。2017年から洗足学園音楽大学、ワールドミュージックコース科バンドネオン講師。

エミリオ・テウバル Emilio Teubal (ピアノ)

1999年以来ニューヨークにて活動中。2018年のラテングラミー賞受賞アルバム「Vigor Tanguero」にピアニストとして参加。「Memorias de Otro Tiempo」として、4枚のアルバムをリリース。2013年ベストアルバムとして選ばれ、デジタルオンラインストアE-Musicのトップ100アルバムに入れられた「Música Para Un Dragon Dormido」(BJURecords 2013)を発表。La Balteuband(2006)とUn Monton de Notas(2009)を発表。Marta Gomez賞、Fernando Otero賞、Phillippe Quintavé、ニューヨークのTango and Jazzシーンの重要メンバーとして活躍。2007年、Meet The Composerの名義でVan Lier Fellowshipを受賞。リンカーンセンター、ケネディセンター、ブルックリン音楽アカデミー、シンフォニーサービス、ブルーノート、バードランド、ルボウ・ソルンルージュなど、アメリカで最も権威のある会場や劇場でバンドリーダーおよびサポートメンバーとして参加。また、今までにメキシコ、グアテマラ、カタール、スペイン、アルゼンチン、日本などの国で演奏を行う。

アリエル・ロベス・サルディーバル Ariel Lopes Saldivar (ギター)

1974年ブエノスアイレス生まれ。7歳より父からギターを学び、その後ファン・ホセカストロ音楽学校に入学。日本はもとより世界的に有名なギタリスト、イルマ・コスタンソに師事。アルゼンチン、スペイン、パラグアイなどで数々の賞を受賞。1998年マドリッドで開催された「Infanta Cristina」コンクールでファイナリストに選出。ソリストとして「Orquesta Juvenil」で活躍。2001年～2002年の間は「Teatro Presidente Alvear」(大統領アルベアル劇場)にて演奏。国営ラジオ出演やアルゼンチンはもとより、アメリカ合衆国、シンガポール、フランス、イギリス、スペイン、ラグアイ、ブラジルなどで様々なコンサートに出演。パリの「Teatro Opera Comique」やニューヨーク国際イベントで演奏。世界の3大オペラ劇場である「Teatro Colon」にも度々出演。2018年1月、クルーズ客船「The World」船内にてソロコンサートを行う。2007年から平田耕治との共演を重ね、世界各国で好評を博している。

那須亜紀子 Akiko Nasu (ヴァイオリン)

熊本県出身。洗足学園音楽大学・同大学院弦楽器専攻を首席で卒業。在学中、前田記念奨学金、明治安田クオリティーオブライフ文化財奨学金を併せて授与される。秋山和慶氏、原田幸一郎氏指揮によるオーケストラと協奏曲を共演、「東アジア文化都市2014」日本代表アーティストに選出され中国公演を行うなど、これまでに様々な演奏会に出演。これまでにヴァイオリンを広瀬大喜、鶴和美、石井志都子、永峰高志の各氏に、ヴィオラを岡田伸夫、井野邊大輔の各氏に、室内楽を木越洋、原善伸、岡田伸夫、安永徹、市野あゆみの各氏に師事。現在、ソロ・室内楽・オーケストラでの演奏活動の他、バンドネオン奏者の平田耕治氏と2003年頃より共演を重ね、タンゴヴァイオリニストとしても各地で活躍中。また近年は、ちちぶ国際音楽祭(2012～2015年)共演指導者を務めるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

眞科基輝 Motoki Warashina (コントラバス)

国立音楽大学器楽学科コントラバス専攻卒業。在学中、学生オーケストラとソリストとしてコンチェルトを共演。コントラバスを山西貴久、池松宏、吉田秀の各氏に師事。日独楽友協会主催のドイツ、チェコをまわるオーケストラ演奏会に出演。第25回静岡県東部地区新人演奏会に出演。第10回「万里の長城杯」国際音楽コンクール弦楽器部門入選。2011年グアム・タモンベイ音楽祭に特別出演。現在はフリー奏者としてオーケストラ演奏や室内楽、ソロ、またタンゴの演奏など幅広く、自主公演、吹奏楽部や個人の楽器のレッスン、曲のアレンジなども手掛け、静岡県内に限らず国内外さまざまな場所で活動している。国立音楽大学非常勤講師。富士ジュニアオーケストラ講師。

高校1年時に単身アルゼンチンに渡り、

巨匠カルロス・ラサリのもとでバンドネオンを学んだ強者中の強者・平田耕治を中心に、

本場の猛者&タンゴのエキスパートたちが集結!

するどく刻まれるビート、哀愁たっぷりの歌、燃えるような熱気溢れるダンス...

お互いを高めあいヒートアップする究極のアルゼンチン・タンゴが、そこにある!

濱田 麗 Rei Hamada (ヴォーカル)

幼少の頃よりエレクトーン教室や合唱団に所属。ハンガリー人父の影響で空手を学ぶ。学生時代はサーファー雑誌「FINE」の専属モデルとして活躍。成蹊大学経済学部卒。'07年ジャズ歌手マリア・エヴァに師事。ジャズを基盤とし、スタンダードナンバーや映画音楽、ポップス、シャンソン、アルゼンチンタンゴ等情熱的なサウンドを好み幅広いジャンルをレパートリーとする。'13年フランス文化芸術勲章オフィシェ賞の現代写真家杉本博司氏祝賀パーティで「愛の賛歌」原語で歌い好評を得る。'17年ニューヨーク初ライブ。'18年ニューヨークJAPAN FESTIVAL等多数イベント出演。'18年デビューアルバム「Sixteen Tons」発売。ビッグバンド、(オルケスタ・デ・ラ・マドゥルガダ)ラテンジャズ、ビッグバンドや自己のバンドでライブハウス、レストラン、ホテル、外国人記者倶楽部、イベント、クルージング等で活躍中。

ロクサーナ・リオス Roxana Rios (ダンス)

アルゼンチン・ブエノスアイレスで生まれ、10才で来日、タンゴ講師である父のもと、幼少の頃からタンゴに励む。2010年にアルゼンチン、ブエノスアイレスへの留学を経て、日本に拠点を置き、タンゴレアルアカデミー池袋スタジオにてショーダンサー、インストラクター、振付師として務める。2011年平田耕治率いるCAMBA Tangoとの横浜みなとみらいホールでの公演を共にする。2014年ギジェルモ・ボイドとペアを結成、アルゼンチンをはじめ、フランス、ドイツ、スペインにてワークショップ、エキシビション、ショーに出演。世界各国で公演を重ねている。

ギジェルモ・ボイド Guillermo Boyd (ダンス)

1994年よりブエノスアイレス、ラ・プラタ、タンディルを中心に活動。アルゼンチン主要劇場でのパフォーマンス、国内外TV出演。2001年「BALLET MUNICIPAL DE TANGO」主宰・ディレクター、以降、マイアミ、カリフォルニア、サンクトペテルブルグ、ブラジル、日本旭で公演を行う。2009年福岡再来日。現在、東京を拠点に活動開始。